marantz®

Super Audio CD player

# SA8003
# SA7003

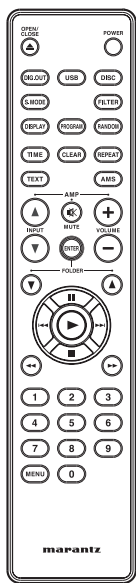
取扱説明書

**マランツのスーパーオーディオCDプレーヤーをお買い上げいただき、ありがとうございます。**
**ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。**
**お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。**

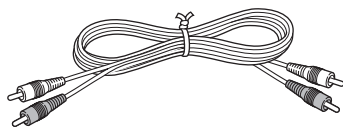
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

## 付属品

製品を箱から出したらまず下記の付属品がそろっているか確認してください。

- リモコン ......................................................1個

- 単4乾電池 ......................................................2個

- 電源コード......................................................1本

- オーディオケーブル（赤･白）.........................1組

- リモート接続ケーブル（オレンジ）................1本

- 取扱説明書（本書）.........................................1冊

- 保証書（箱に貼付）.........................................1枚

# 目次

# 安全上のご注意

**ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。**

## 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。**

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

**●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

**△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。**

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

## 警　告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 10cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。アンプ等の発熱の多いものの上に置かないでください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は 50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  
  - この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

## 警告

● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

● エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス－の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜたり、種類の違う電池を混ぜたりして使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁し、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って火気のない場所に処分してください。

● 電池はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けて下さい。

● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードは使用しないでください。

指の怪我に注意

手を挟まれないように注意

● お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注　意

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- この機器または電池が入ったリモコンを次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
  - 窓を閉めきった自動車の中
  - 直射日光が当たる場所
  - 火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- この機器の上に 5kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 5 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池が液もれしている場合は、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取扱いには十分ご注意ください。誤って液が付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。

  ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

注　意

- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。この機器は、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - 暖房開始直後の部屋
  - 湿気が多い部屋
  - 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、この機器が誤動作することがありますので 30 分位待ってから使用してください。
- この機器がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- 本機はパソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD（ビデオ／オーディオ）,DTS-CD、などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。

OPT_080311F1

# 本機の特長

## SA8003/SA7003 共通の特長

本機はスーパーオーディオ CD の持つサウンドパフォーマンスを高度に再生します。主に次のような特長があります。

- **ディファレンシャル入力のHDAMによるローノイズ低歪フィルター回路と高速HDAMSA2送り出しアンプ**
- **CD-R/CD-RWディスク再生対応**
- **本機指定ファイル形式のWMAまたはMP3が記録されたCD-R/RW/ROMディスク再生対応**

## SA8003 の特長

SA8003 は SA7003 と比べて以下のアップグレードをしております。

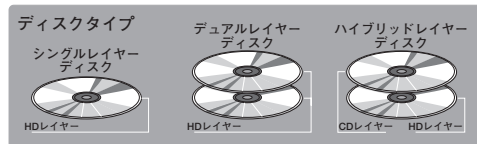
- **トロイダルトランス**
  電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは漏洩磁束を軽減しています。
- **大容量ブロックコンデンサ**
  電源回路には音質検討を重ねたオーディオ用3300 μ F大容量コンデンサを搭載しています。
- **高音質フィルムコンデンサー、電解コンデンサー**
  SA8003では上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。
- **ダブル·レイヤード·シャーシ**
- **高級削り出しアナログ・オーディオ出力端子**
- **USBオーディオ(MP3/WMA/WAV)/iPod再生対応**
  本機では、USB機器またはiPodをUSB端子に接続することにより指定のファイル形式のMP3、WMA、WAV、AACファイルの再生が可能です。

## 本機で再生できるディスクについて

**1. スーパーオーディオ CD**

スーパーオーディオ CD 規格はダイレクト・ストリーム・デジタル(Direct Stream Digital)(DSD)技術に基づいています。
このダイレクト·ストリーム·デジタル·フォーマットは、従来のオーディオ CD よりも 64 倍のサンプリング周波数を有する 1 ビットシステムから構成されています。
それによって、100kHz 以上におよぶ周波数範囲及び可聴周波数帯全域でダイナミックレンジ 120dB の素晴らしいサウンドが生まれます。
可能な限り多くの周波数分布をミックスすることにより、可聴域のオーディオ情報がよりいっそう自然に聞こえるようになります。
つまり、すべての可聴周波数は音源から発せられる周波数範囲内に組み込まれます。
これによって、リアリティーのある音場が再現されます。

スーパーオーディオ CD には、以下の 3 つのタイプがあります。

- **シングルレイヤー・ディスク**
- **デュアルレイヤー・ディスク**
- **ハイブリッドレイヤー・ディスク**

また、各々のタイプは、情報が記録される 2 つの領域、

- **高音質ステレオエリア**
- **高音質マルチチャンネルエリア ****

を持つことができます。

- **シングルレイヤー・ディスク**
  高音質ステレオと高音質マルチチャンネル**の両方の情報エリアを持つことができます。
- **デュアルレイヤー・ディスク**
  高音質ステレオと高音質マルチチャンネル**の両方の情報エリアを持つことができますが、第二レイヤーの存在によって2倍の情報量をディスクに記憶することができます。
- **ハイブリッドレイヤー・ディスク**
  高音質ステレオと高音質マルチチャンネル**の両方の情報エリアを持てるだけでなく、第二レイヤーにはCDレイヤーも持てるため、CDプレーヤーでの再生が可能となります。

記録されるトラック数は、レイヤーによって違うことがあります。これは本体の表示窓に表示されます。

****本機はステレオ専用プレーヤーですので高音質マルチチャンネルエリアは再生できません。(マルチチャンネルエリアは認識しません)**

**2. オーディオ(音楽)CD(CDDA)**

オーディオ CD はミュージックトラックのみで構成されています。

**3. CD-R/CD-RW**

- CD-RやCD-RWの再生では必ずTOC*が正しく記録されていることが必要です。CDレコーダーではTOC情報を書き込むことをファイナライズ(Finalize)といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通のCDプレーヤーやスーパーオーディオCDプレーヤーではオーディオCDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

* TOC(トック)とはTable Of Contentsの略で、ディスクの総曲数や総再生時間などの目次情報のことです。

- CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオCDやCD-Rに比べTOCの読み込みに若干時間がかかることがあります。

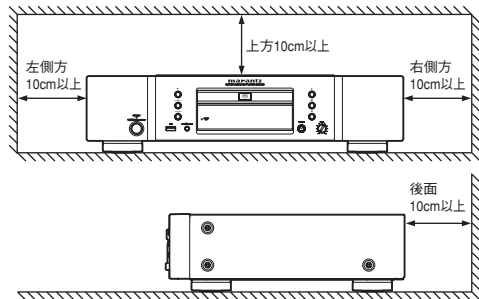
# ご使用の前に

## 設置場所

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。
- アンプ等の発熱の多いものの上

**※アンプ等の発熱の多いものの上に直接置いた場合、レーザー等の劣化の原因になります。**

## 上に物をのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

## ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流100Vをご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域、または60Hz地域どちらでも使用できます。

## 電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。

  コードを強くひっぱったり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- お出かけ前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

## セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及びセット内部の修理は行わないでください。

## 使用上の注意

- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。スーパーオーディオCDプレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - 暖房開始直後の部屋
  - 湿気が多い部屋
  - 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

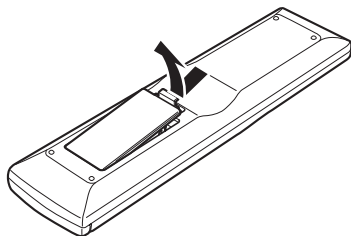
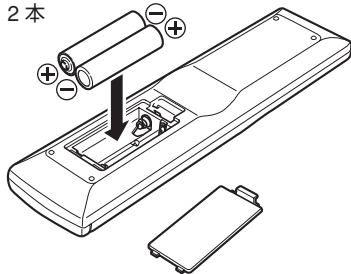
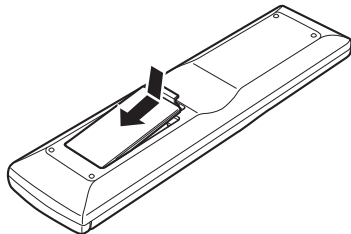
  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので30分位待ってから使用してください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- パソコン用のCD-ROMや、ゲームCD、ビデオCD、DVD（ビデオ／オーディオ）、DTS-CD、などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。

## ご使用の前に

### リモコンの使用について

#### リモコンに乾電池を入れる

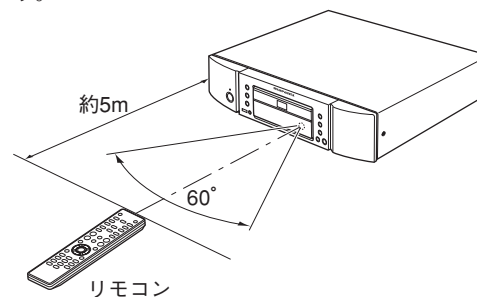
付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

**1.** 裏ぶたをはずします。

**2.** 電池の⊕⊖を正しく入れます。

**3.** カチッと音がするまでしめます。

#### 乾電池の取り扱い方について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

#### リモコンの使用できる範囲

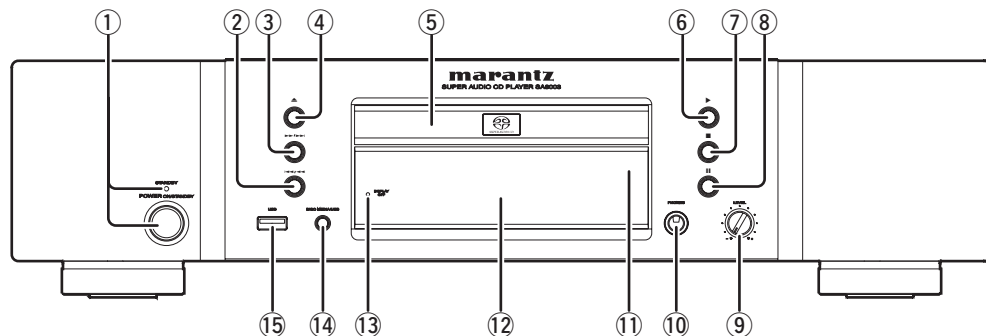
リモコンと本機の操作可能範囲は下図のとおりです。

**使用上の注意**

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

# 各部の名称

## 前　面

**SA8003**

**SA7003**

### ① POWER ON/STANDBY スイッチ STANDBY インジケーター

本機の電源を ON/OFF するスイッチです。
12 ページ参照

### ② ⏮/◀◀(トラック スキップ／サーチ)ボタン

12 ページ参照

### ③ ▶▶/▶▶|(サーチ／トラック スキップ)ボタン

12 ページ参照

### ④ ⏏(オープンクローズ)ボタン

12 ページ参照

### ⑤ ディスクトレイ

ディスクをのせるトレイです。12 ページ参照

### ⑥ ▶(プレイ)ボタン

12 ページ参照

### ⑦ ■(ストップ)ボタン

12 ページ参照

### ⑧ ❚❚(ポーズ)ボタン

12 ページ参照

### ⑨ LEVEL(ヘッドホンレベル)つまみ

ヘッドホンの音量を調整するつまみです。右に回すとヘッドホンの音量が大きくなります。

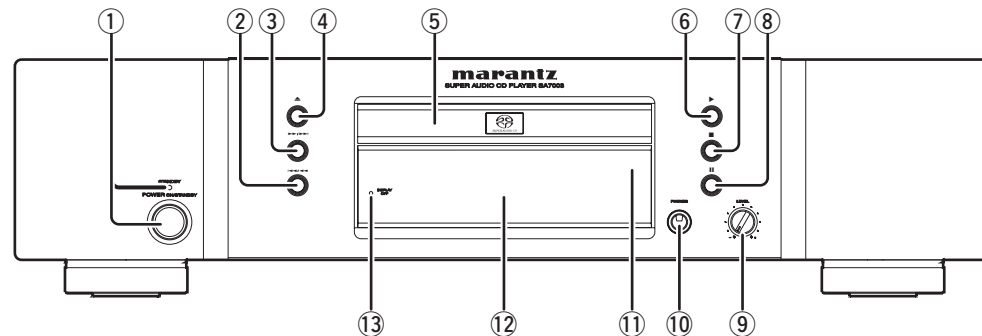
### ⑩ PHONES(ヘッドホン)端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは標準プラグのものをご使用ください。

### ⑪ 赤外線受光部

リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

### ⑫ FL ディスプレイ

8 ページ参照

### ⑬ DISPLAY OFF(ディスプレイオフ)インジケーター

9 ページ参照

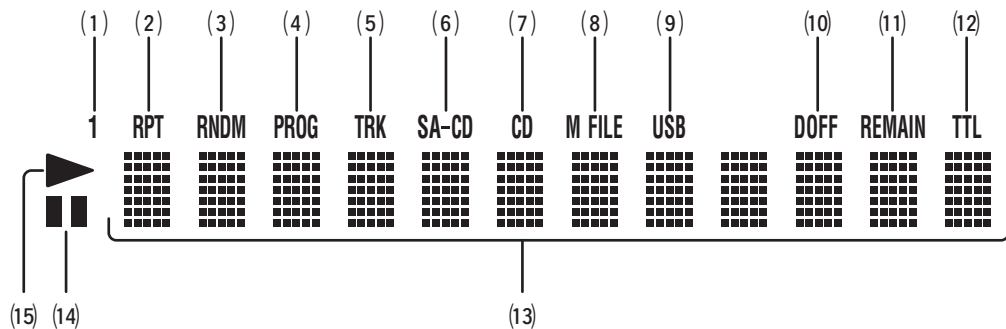
### ⑭ DISC MEDIA / USB ボタン (SA8003 のみ)

19 ページ参照

### ⑮ USB 端子(SA8003 のみ)

19 ページ参照

# 各部の名称

## 表示窓

### (1) 1(リピート)インジケーター
1曲リピート再生時に点灯します。

### (2) RPT(リピート)インジケーター
リピート再生時に点灯します。

### (3) RNDM(ランダム)インジケーター
ランダム再生時に点灯します。

### (4) PROG(プログラム)インジケーター
プログラム再生時に点灯します。

### (5) TRK(トラック)インジケーター
再生中の曲番(トラックナンバー)などの表示の上に点灯します。

### (6) SA-CD インジケーター
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。(スーパーオーディオ CD)

### (7) CD インジケーター
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。(オーディオ CD)

### (8) M FILE インジケーター
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。(WMA/MP3)

### (9) USB インジケーター
USB/iPod モードで動作しているときに点灯します。

### (10) D OFF(デジタル出力 OFF) インジケーター
オーディオ CD 信号のデジタル出力設定が OFF に設定されているときに点灯します。(→ 18 ページ)

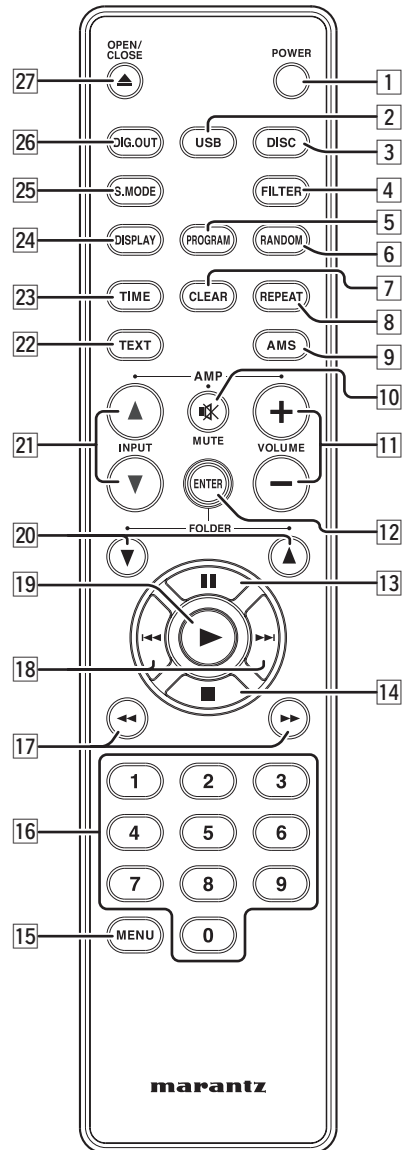
### (11) REMAIN(リメイン)インジケーター
トラックの残り再生時間を表示すると、その上に点灯します。

### (12) TTL(トータルタイム)インジケーター
総残り時間や、総プログラム時間を表示すると、その上に点灯します。

### (13) メイン表示部
再生するディスクの時間表示、文字(テキスト)情報、設定メニューなどを表示します。

### (14) II(ポーズ:一時停止)インジケーター
一時停止時に点灯します。

### (15) ►(プレイ:再生)インジケーター
再生時に点灯します。

## リモコン

### 1 POWER（パワー）ボタン

本機の電源を ON／OFF します。12 ページ参照

### 2 USB ボタン（SA8003 のみ）

USB メディアを使用するときに押します。
19 ページ参照

### 3 DISC ボタン（SA8003 のみ）

ディスクメディアを使用するときに押します。

### 4 FILTER（フィルター）ボタン

本機では使用できません。

### 5 PROGRAM（プログラム）ボタン

16 ページ参照

### 6 RANDOM（ランダム）ボタン

16 ページ参照

### 7 CLEAR（クリア）ボタン

17 ページ参照

### 8 REPEAT（リピート）ボタン

16 ページ参照

### 9 AMS（オートマチック ミュージック スキャン）ボタン

17 ページ参照

### 10 MUTE（ミュート）ボタン

マランツ製プリメインアンプをご使用の場合、ミューティング機能の操作ができます。

### 11 VOLUME（ボリューム）ボタン

マランツ製のリモコン付きアンプをご使用の場合、音量調節をすることができます。

### 12 ENTER ボタン

MENU による設定の確定や USB のファイルサーチでファイルを確定するとき等に使用します。

### 13 ❚❚（ポーズ）ボタン

12 ページ参照

### 14 ■（ストップ）ボタン

12 ページ参照

### 15 MENU（メニュー設定）ボタン

Timer Play の設定、SA-CD の設定、USB setup、iPod setup を設定するときに押します。

### 16 0-9（数字）ボタン

12 ページ参照

### 17 ◀◀、▶▶（サーチ）ボタン

12 ページ参照

### 18 ❙◀◀、▶▶❙（トラックスキップ）ボタン

12 ページ参照

### 19 ▶（プレイ）ボタン

12 ページ参照

### 20 FOLDER ▲ / ▼ボタン（SA8003 のみ）

USB のフォルダサーチや iPod にてアルバムの選択のときに使用します。

### 21 INPUT（インプット）▲ / ▼ ボタン

マランツ製アンプをご使用の場合、インプット切り替えを操作することができます。ただし、旧モデルでは対応していない場合があります。

### 22 TEXT（テキスト）ボタン

MP3/WMA などのデータディスクおよび USB/iPod の使用時にメイン表示部を時間表示からテキスト表示に変更するときに押します。22 ページ参照
本機はスーパーオーディオ CD およびオーディオ CD の TEXT 表示には対応しておりません。

### 23 TIME（タイム）ボタン

時間表示を切替えるときに押します。
16 ページ参照

### 24 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

表示窓の点灯、消灯を切替えます。
1 回押す度に表示が暗くなり、3 回目で表示が消えて DISPLAY OFF インジケーターが点灯します。
電源を切っても最後に設定した状態が保持されます。

### 25 S.MODE（サウンドモード）ボタン

17 ページ参照

### 26 DIG. OUT（デジタルアウト オン／オフ）ボタン

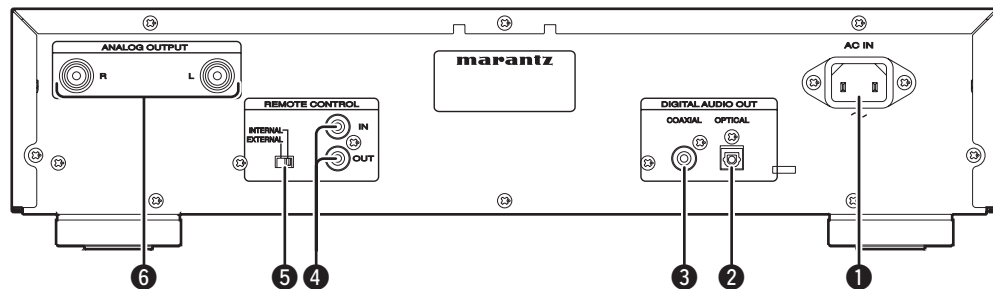
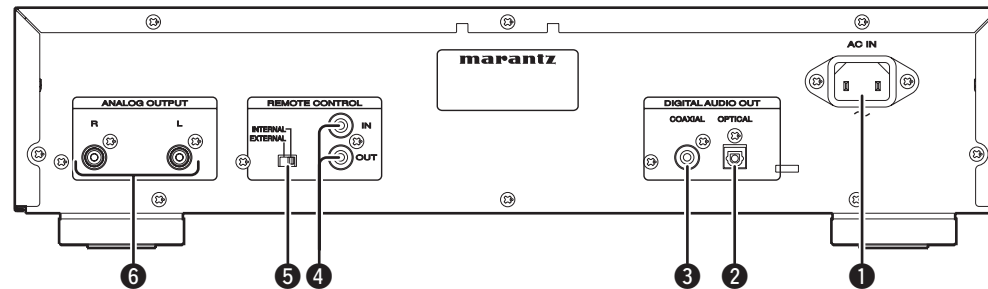
オーディオ CD 信号のデジタル出力の ON／OFF 設定をするときに押します。18 ページ参照

### 27 ≜（オープンクローズ）ボタン

12 ページ参照

# 各部の名称

## 後面

### SA8003

### SA7003

### ❶ 電源コード接続端子

付属の電源コードを使用して、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

**万一の事故防止のため、本機から電源コードが外せる配置にしてください。**

### ❷ DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（光デジタル出力）端子

再生中のオーディオ CD 信号をデジタル出力する光出力端子です。
13 ページ参照

### ❸ DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL（同軸デジタル出力）端子

再生中のオーディオ CD 信号をデジタル出力する同軸出力端子です。13 ページ参照

### ❹ REMOTE CONTROL IN ／ OUT（リモートコントロール入出力）端子

当社製品でリモートコントロール端子を装備した機種と、付属のリモート接続ケーブルで接続する端子です。14 ページ参照

### ❺ EXTERNAL ／ INTERNAL（エクスターナル／インターナル）スイッチ

スイッチはお買い上げ時 INTERNAL に設定されていて、本機に内蔵されているリモコン信号受光部を使用できます。
当社製品と付属の接続ケーブルでリモートコントロール端子に接続する場合は、スイッチを EXTERNAL に切り替えて使用します。
14 ページ参照

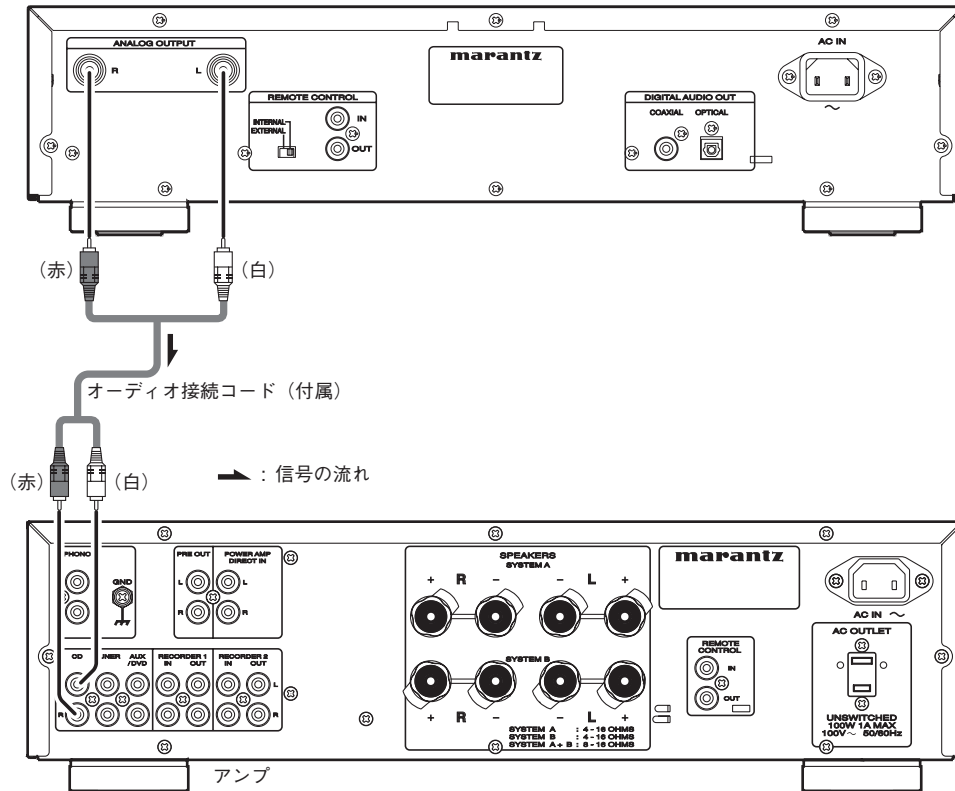
### ❻ ANALOG OUT（アナログ出力）端子

再生中の音楽信号を出力する端子です。
11 ページ参照

# 基本接続

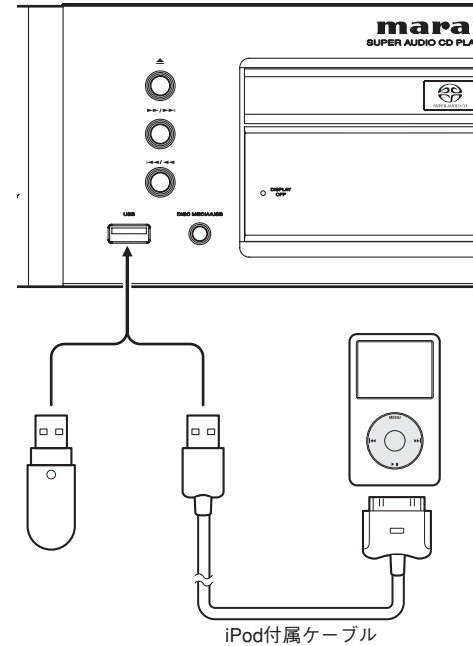
アンプ、CD レコーダーなどと本機を接続します。正しく接続を行なうため、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
また、接続するときは各機器の電源を必ず切ってください。

## アンプとの接続

本機をステレオアンプや AV アンプにオーディオ接続コードを使用して接続します。
接続するときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因となります。

### ご注意

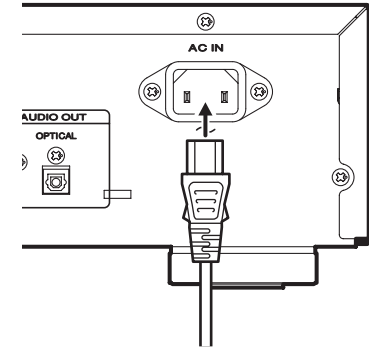
アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

## USB メディア／ iPod との接続（SA8003 のみ）

USB メディア／iPod を SA8003 と接続します。

### ご注意

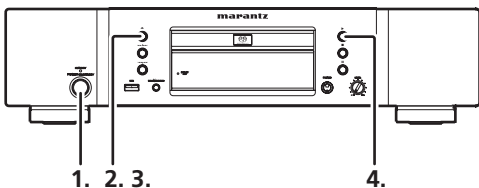
USB メディア／iPod は電源オフ時または入力ソースが USB 以外のときに接続してください。電源オン状態で入力ソースが USB のときに USB メモリーを抜き差しすると USB メモリーが壊れることがあります。

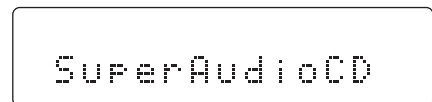
## 電源コードとの接続

1. 付属の電源コードをプレーヤーの背面の電源コード接続端子に差し込んでください。

2. 電源コードをコンセントに差し込んでください。
3. 接続したオーディオ機器（アンプ等）の電源スイッチを入れてください。その際オーディオ機器のセレクトボタンは本機と接続した入力を選択してください。

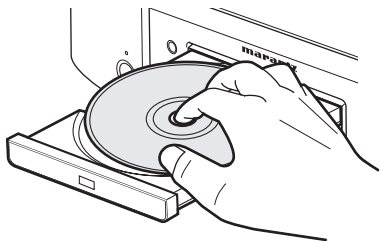
# 基本操作

## 通常の再生のしかた

### プレーヤーの再生

**1.** **POWER**スイッチを1秒程度押し続け、電源を入れます。

**ディスプレイ**

SuperAudioCD

表示は"**TOC Reading**"→"**No Disc**"（ディスクが入っていない場合）→"**Super Audio CD**"（スタートサウンドモード設定がスーパーオーディオ CDの場合）の順に変わります。

**2.** ▲ボタンを押します。
ディスクトレイがでてきますので、そこにレーベル面を上にして、ディスクをのせます。

シングル（8cm）CDは、トレイ中央のくぼみに合わせてのせてください。

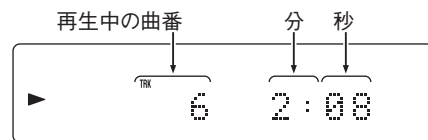
**3.** ▲ボタンを押します。

**ご注意**

ディスクトレイは手で押し込まないでください。不良の原因となります。

**4.** ▶ボタンを押します。
ディスクの種類を自動的に判別し、再生を始めます。
ディスプレイには曲番・曲の再生経過時間（分、秒）が表示されます。

- スーパーオーディオCD/CDのハイブリッドディスク（4ページ）の場合、スタートサウンドモード（→18ページ）で設定されたレイヤーが再生されます。レイヤーを変更したいときは**S.MODE**ボタンで切替えてください。（→17ページ）

**（例：6曲目、経過時間2分8秒の場合）**

最後の曲の再生が終わると、自動的に止まります。

**再生を停止するには**

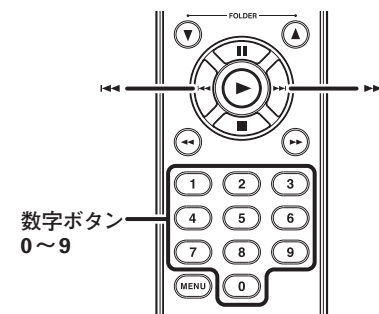
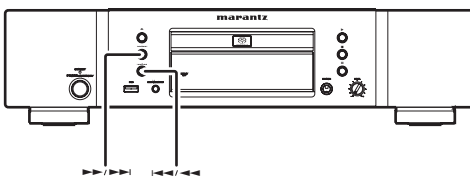
■ボタンを押します。

**ディスクを取り出すには**

▲ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを取り出し、もう一度押して閉じます。
本機を使わないとき、ディスクトレイは必ず閉めておいてください。

**再生を一時停止するには**

II ボタンを押します。
PAUSE インジケーターが点灯し、再生はボタンを押した所で一時停止されます。再生を再開するには、もう一度 II ボタンを押すか▶ボタンを押します。

## 聴きたい曲（トラック）を再生する

### 曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

リモコンの数字ボタン（0 ～ 9）で再生する曲番を指定します。
（例）

3 曲目 ： 数字ボタン **3** を押す。
12 曲目 ： 数字ボタン **1** を押し、続けて **2** を押します。（約 1.5 秒以内に押してください。）

**数字ボタンを押し間違えたときは**

ディスクにない曲番を指定すると、この操作をする前の表示に戻ります。
もう一度、正しい数字ボタンを押します。

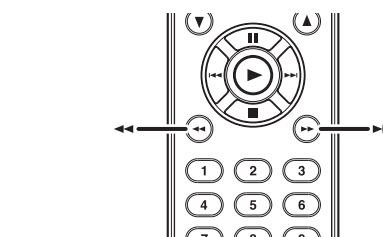
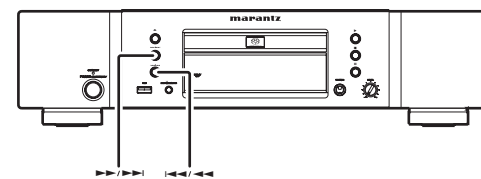
### 前の曲や次の曲を再生する（トラック スキップ）

**再生中の曲より後の曲を聴くには**

進めたい曲数分だけ本体またはリモコンの ▶▶I ボタンを押します。

**再生中の曲より前の曲を聴くには**

再生中に本体またはリモコンの I◀◀ ボタンを 1 度押すとその曲の頭に移ります。
続けて戻したい曲数分だけ本体またはリモコンの I◀◀ ボタンを押します。

## 聴きたい部分を再生する（サーチ）

再生中に本体の I◀◀、▶▶I ボタンを 1 秒程度押し続けるかリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すと、サーチを開始します。
その後本体の I◀◀、▶▶I ボタン、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すとサーチスピードを変更することができます。
サーチの速度は 4 段階で 1 → 2 → 3 → 4 → 1 と変化します。
速度は 4 が最も速くサーチします。
聴きたい部分が近づいてきたら▶ボタンを押してください。

**ご注意**

サーチ操作中に音声は出力されません。

# 応用接続

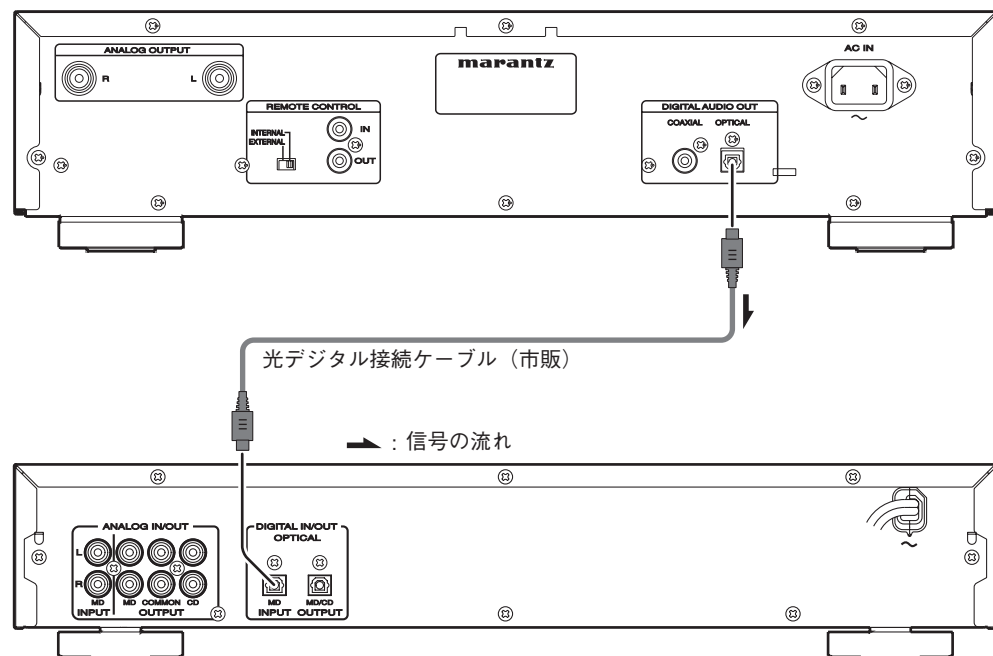
## デジタルオーディオ機器との接続

本機はデジタル出力端子を OPTICAL（光）・COAXIAL（同軸）各 1 系統装備しています。
本機と CD レコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、デジタル録音がお楽しみいただけます。

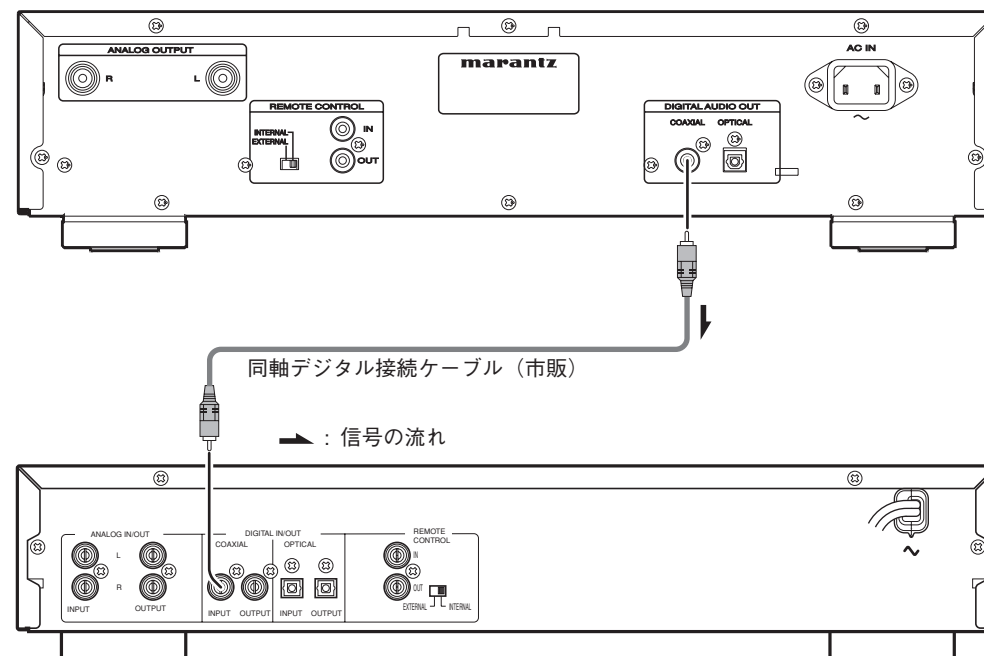
**ご注意**

DIGITAL AUDIO OUT 端子（OPT.、COAX.）からはオーディオ CD 再生時のときのみ出力されます。その他メディア再生時のときは出力されません。

### OPTICAL（光）出力端子を接続する

市販の光デジタル接続ケーブルを使用します。プラグがカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
光デジタル接続ケーブルは折り曲げたり、束ねたりしないでください。

CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

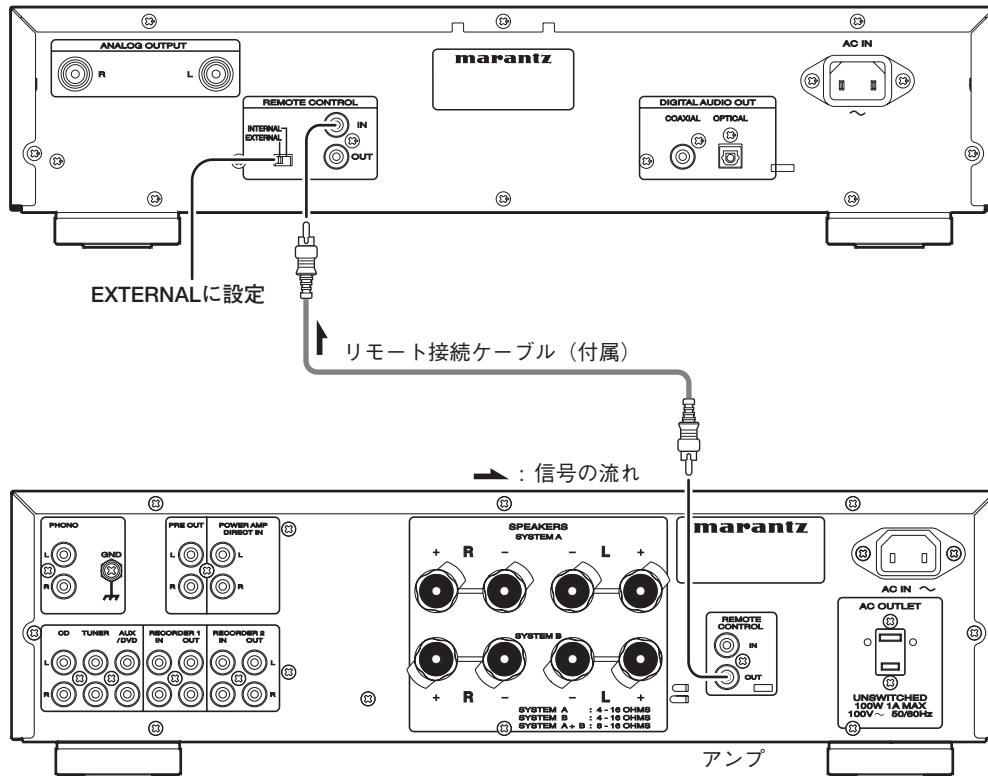
### COAXIAL（同軸）出力端子を接続する

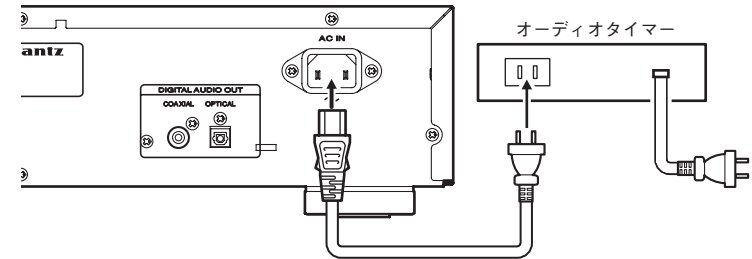
市販の同軸デジタル接続ケーブルを使用します。

CDレコーダー、MDデッキ、AVアンプなど

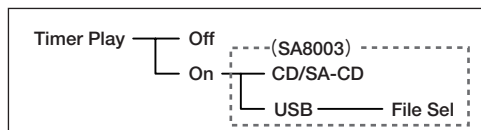
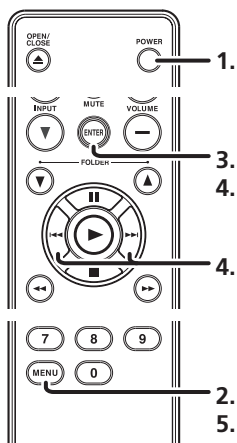
# 応用接続

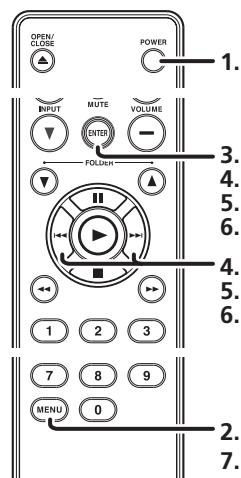
## リモートコントロール端子

付属のリモートコントロールケーブルを使って、本機を他のマランツ製オーディオ機器に接続すると、システムとして接続した機器をリモートコントロールできます。

- リモートセンサーを搭載している機器と接続するとき、本機の"REMOTE CONTROL IN"と接続する機器の"REMOTE CONTROL OUT"端子を接続してください。
  このとき、本機のスイッチを"EXTERNAL"に設定してください。本機のリモコン赤外線受光部が動作しなくなり、接続した機器のリモコン赤外線受光部を通して操作することができます。

## タイマープレイ

本機では市販の外部オーディオタイマーと連動したタイマープレイができます。
図のように本機の電源コードをオーディオタイマーの電源ソケットに差し込んでください。
※オーディオタイマーへの接続、および操作についてはオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。

## タイマープレイの設定

タイマープレイの設定の階層下は以下のとおりです。

**SA7003**

1. **POWER**スイッチを1秒程度押し続け、電源を入れます。
2. リモコンの**MENU**ボタンを押します。
3. 表示部に"**TIMER PLAY=>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
4. ⏮、⏭ボタンで"**2 ON**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
5. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。
6. 再生するディスクを本機に挿入します。
7. オーディオタイマーを設定します。

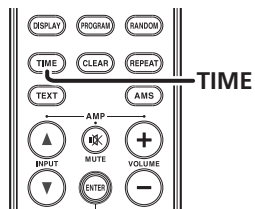
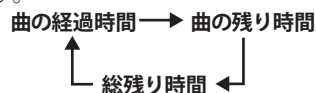
**SA8003**

1. **POWER**スイッチを1秒程度押し続け、電源を入れます。
2. リモコンの**MENU**ボタンを押します。
3. 表示部に"**TIMER PLAY=>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
4. ⏮、⏭ボタンで"**2 ON**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
5. CD/SA-CDをタイマープレイで再生する場合は、⏮、⏭ボタンで"**1 CD/SACD**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
6. USBをタイマープレイで再生する場合は、⏮、⏭ボタンで"**2 USB**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

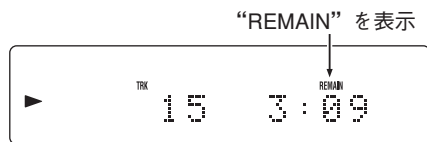
   USBを選択した場合、タイマープレイ時に再生する曲を選択することができます。選択方法はUSBの選曲方法を参照ください。
7. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。
8. CD/SA-CDを選択した場合、再生するディスクを本機に挿入します。
9. オーディオタイマーを設定します。

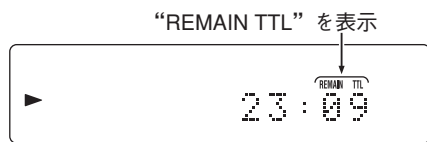
**ご注意**

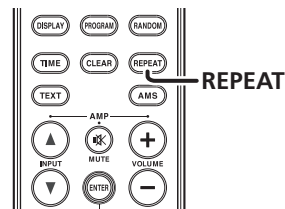
タイマープレイでUSBを選択する場合はあらかじめUSBメディアを本機に差し込んでください。

# 応用操作（CD 操作）

## 時間表示を切替える

リモコンの **TIME** ボタンを押します。
**TIME** ボタンを押すごとに時間表示は下記の順に変わります。

- **曲の残り時間**
  **（再生している所から、その曲の最後までの再生残量時間）**

"REMAIN" を表示

- **総残り時間**
  **（再生している所から、最後の曲までの総再生残量時間）**

"REMAIN TTL" を表示

総残り時間の時は Track 表示はされません。

## 繰り返し聴く（リピート再生）

リモコンの **REPEAT** ボタンを押すごとに下記の順に切り替わります。

### 1 曲だけを繰り返し聴く（1 曲リピート）

リピート OFF 時リモコンの **REPEAT** ボタンを 1 回押します。
"**1**" "**RPT**" インジケーターが点灯し、その曲を繰り返し再生します。

**1 曲リピートをやめるには**

リモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押します。"**1**" "**RPT**" インジケーターが消えて、リピートモードは解除され、通常の再生に戻ります。

### 全曲を繰り返し聴く（全曲リピート）

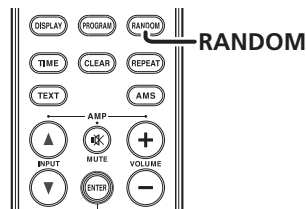
リピート OFF 時リモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押すと "**RPT**" インジケーターが点灯し、全曲を繰り返し再生します。

**通常の再生に戻るには**

リモコンの **REPEAT** ボタンを 1 回押します。"**RPT**" インジケーターが消えてリピートモードは解除され、通常の再生に戻ります。

**ご注意**

リピート再生の設定中はランダム再生、AMS 再生を行なうことはできません。

## 順不同で曲を再生する（ランダム再生）

停止中にリモコンの **RANDOM** ボタンを押し、続いて ▶ ボタンを押すと、自動的に曲順を並び変えて、全曲を順不同（ランダム）に再生します。
このとき、表示部の "**RNDM**"（ランダム）インジケーターが点灯します。

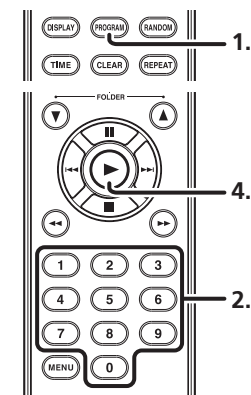
**ご注意**

ランダム再生の設定中はリピート再生、AMS 再生を行なうことはできません。

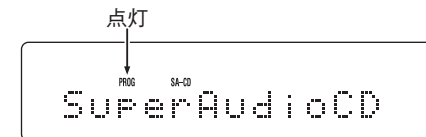
- ランダム再生中に本体またはリモコンの ▶▶I ボタンを押すと、押すたびに本機が並べ変えた曲に移り、再生を始めます。
- ランダム再生中に本体の I◀◀/◀◀、▶▶/▶▶I ボタンを押し続けるかリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すと、再生中の曲内をサーチします。

**ランダム再生を止めて、通常再生に戻すには**

■ ボタンを押し、再生を停止した状態で **RANDOM** ボタンを押します。
RNDM（ランダム）インジケーターが消えて、ランダム再生が解除されます。

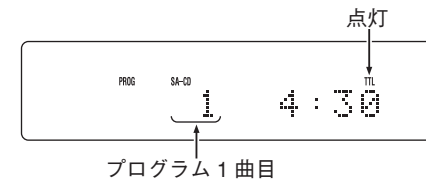
## 曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）

曲を好きな順番に並べ替えて聴くことができます。
最大 24 曲まで再生する曲をプログラムできます。

**1.** 停止状態でリモコンの **PROGRAM** ボタンを押すと、"**PROG**" インジケーターが点灯しプログラムモードに入ります。

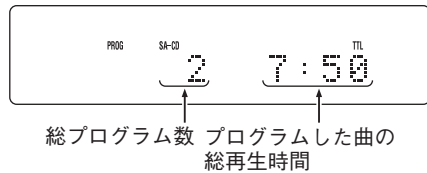
点灯

**2.** リモコンの数字ボタンでプログラムする曲を選びます。

**（例：15曲目を最初に選び、15曲目の再生時間が4分30秒の場合）**

点灯

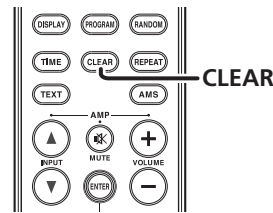
プログラム 1 曲目

3. 続いて希望の曲を2.の手順を繰り返してプログラムします。最大で24曲までプログラムできます。

**（例：7曲目を選び、15曲目と 7曲目の総再生時間が7分50秒の場合）**

総プログラム数 プログラムした曲の総再生時間

4. ▶ボタンを押すと、プログラムした順番に再生します。

**ご注意**

PROG 表示中はリピート再生、ランダム再生、AMS 再生を行なうことはできません。

## プログラム内容を変更するには

**プログラムした曲を取り消すには**

1. 停止中、プログラムがあるとき（“**PROG**”が点灯中）に**CLEAR**ボタンを押します。
2. **CLEAR**ボタンを押す度に、プログラムした曲の最後の曲から順番に取り消されます。

**プログラム全体を消すには**

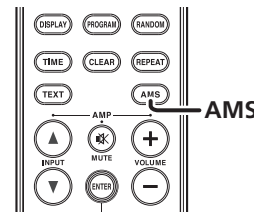
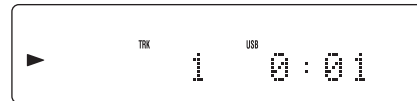
プログラム再生中は、■ ボタンを 2 回押します。停止中は ■ ボタンを 1 回押します。
⏏ ボタンを押してディスクトレイを開けても、プログラムは消えます。

**プログラムの追加をする場合**

プログラムが残っている場合の停止状態（“**PROG**”が点灯している状態）にプログラムを最後の曲の後に追加することができます。

**プログラムで曲を選ぶとき、次のことがらに注意してください。**

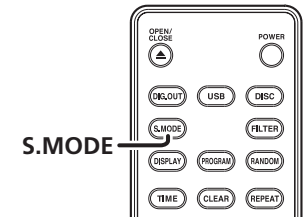
- 総曲数が10曲以上のディスクで、数字ボタンで1〜9曲目を選ぶ場合、例えば1曲目の後、3曲目をプログラムする場合なら**1**を押し、プログラムが確定した後、**3**を押してください。確定されるとタイムが更新されます。
- また10曲目以降を選ぶ場合、例えば13曲目なら**1**を押した後、およそ1.5秒以内に**3**を押してください。
- 総曲数が9曲以内のディスクで、数字ボタンで曲を選ぶ場合、例えば4曲目の後5曲目をプログラムする場合なら**4**を押した後、プログラムが確定してから**5**を押してください。

## 聴きたい曲を探す（AMS 再生）

聴きたい曲を探すときに便利な機能です。
停止中、**AMS** ボタンを押すと PLAY インジケーター“▶”が点滅し、1 曲目からディスク全曲の最初の 10 秒間を次々に再生します。
また、再生中に **AMS** ボタンを押すと、 PLAY インジケーター“▶”が点滅し、表示時間が約 10 秒経過したら次のトラックにとびます。

聴きたい曲が見つかったらもう一度 AMS ボタンまたは ▶ ボタンを押します。PLAY インジケーターが点灯に変わり、その曲以降を通常再生します。

**ご注意**

プログラム中の AMS 再生はできません。

## サウンドモード（スーパーオーディオ CD）の切替え

スタートサウンドモードを“SA-CD”に設定してください。お買い上げ時の設定は“SA-CD”になっています。（18 ページ参照）

1. 停止中のとき **S.MODE** ボタンを押します。

   現在選択しているレイヤーまたはエリアがディスプレイに表示されます。（CD、 Super Audio CD）

   更に **S.MODE** ボタンを押すと再生可能なレイヤーまたはエリアが表示され、新しいレイヤーまたはエリアへ切り替わります。

   - レイヤーまたはエリアを切り替えると新たにTOCの読み取りをおこないます。
   - オーディオCDディスクおよびスーパーオーディオCDエリアのみのディスクのときは切り替えができません。
   - ハイブリッドレイヤーディスクでは次のように切り替わります。

2. 再生中のとき **S.MODE** ボタンを押します。

   現在選択しているレイヤーまたはエリアがディスプレイに表示されます。（CD、Super Audio CD）

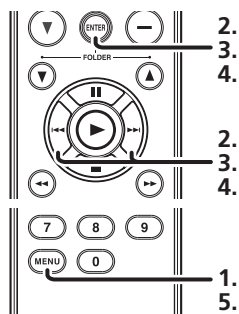
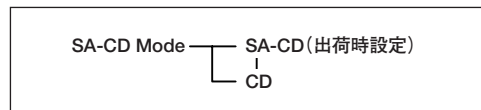
   更に **S.MODE** ボタンを押すと再生は停止し、新しいレイヤーまたはエリアへ切り替わります。

   そのエリアで聴きたい場合は、再度▶ボタンを押すと再生を開始します。

# 応用操作（CD 操作）

## スタートサウンドモードの切り替え

スタートサウンドモードの切り替えの階層は下記のとおりです。

SA-CD Mode ── SA-CD（出荷時設定）
　　　　　　└ CD

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** ⏮、⏭ボタンで“**SA-CD Mode=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** SA-CD層を読み込みたいとき、⏮、⏭ボタンで“**1 SA-CD**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**4.** CD層を読み込みたいとき、⏮、⏭ボタンで“**2 CD**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**5.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

### スタートサウンドモードをCDに選択している場合

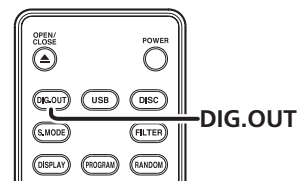
- このとき、スーパーオーディオCDのハイブリッドレイヤー・ディスクを挿入するとCD層を読み込みます。
- リモコンの **S.MODE** ボタンを押してもサウンドモードの切り替えはできません。
- スーパーオーディオCDエリアのみのディスクを挿入した場合は、スーパーオーディオCD層を読み込みます。

### スタートサウンドモードをスーパーオーディオCDに選択している場合（初期状態）

- このとき、スーパーオーディオCDのハイブリッドレイヤー・ディスクを挿入するとスーパーオーディオCD層を読み込みます。
- リモコンの **S.MODE** ボタンを押すと、CD層に切り替えることができます。
- 再度、リモコンの **S.MODE** ボタンを押すと、スーパーオーディオCD層に戻ります。

## デジタル出力を設定する

設定はリモコンで操作可能です。
また電源を切っても保持されますので、常にお好みの状態で再生を楽しむことができます。
再び設定を変更するには同じ操作で変更します。
設定は停止中のとき変更できます。

### オーディオ CD またはスーパーオーディオ CD の CD レイヤー再生時

### デジタル出力オフ（DIG.OUT OFF）操作

停止中のとき **DIG.OUT** ボタンを押す度に、オン／オフが繰り返され、デジタル出力 OFF 時にはディスプレイに“**D OFF**”が点灯します。

- デジタル出力を使用しない場合、デジタル出力OFFにすると、より良い音質で楽しむことができます。

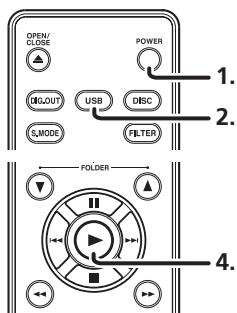
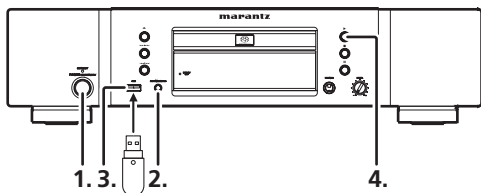
**ご注意**

デジタル出力はオーディオ CD 再生時のときのみ出力されます。

その他メディア再生時のときは出力されません。

デジタル出力オフは、ラストメモリー機能を持っています。ディスクの交換や電源を切っても設定を記憶し、変更されません。

# 応用操作（USB ／ iPod 操作）ー SA8003 ー

## 通常再生のしかた

**1.** USBメディアをフロントパネルのUSB端子に差し込んでください。

**2.** **POWER**スイッチを1秒程度押し続け、電源を入れます。

SA-CD
SuperAudioCD

表示は"**TOC Reading**"→"**No Disc**"（ディスクが入っていない場合）→"**SuperAudioCD**"（スタートサウンドモードがスーパーオーディオCDの場合）の順に変わります。

**3.** フロントパネルの**DISC MEDIA/USB**ボタン、またはリモコンの**USB**ボタンを押します。

USB
USB

**4.** USBメディアを検出すると以下の表示を行います。

USB
USB Reading

USBメディアのファイル情報の取得が完了すると、以下の表示に変わります。

### ご注意

USB メディアが接続されていない場合、表示は"USB Reading"→"USB"の順に変わります。

**5.** ▶ボタンを押します。

メニュー内で選択されたファイル情報が表示され、時間情報を表示されます。

1000曲を超えた場合以下の表示に変更されます。

### 再生を停止するには

■ボタンを押します。

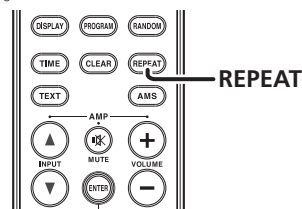
### 再生を一時停止するには

❚❚ボタンを押します。
PAUSE インジケーターが点灯し、再生はボタンを押した所で一時停止します。
再生を再開するには、再度 ❚❚ ボタンを押すか、▶ ボタンを押します。

### アドバイス

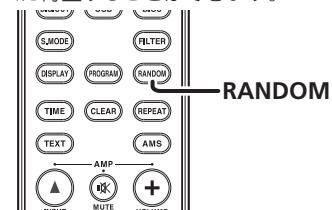
- USB メディア／iPod を再生する際、最大で 8 段階、700 フォルダ、65,535 ファイルまで再生することができます。
- マランツ製品から iPod のイコライザを操作することはできません。本機に iPod を接続する前に、iPod のイコライザを「オフ」に設定することをお勧めします。
- 接続する iPod の機種によっては、一部動作が異なる場合があります。

## 繰り返し聴く（リピート再生）

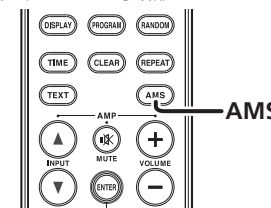
1 曲リピートまたは全曲リピートで再生することができます。

リモコンの **REPEAT** ボタンを押すごとに、下記の順で切り替ります。

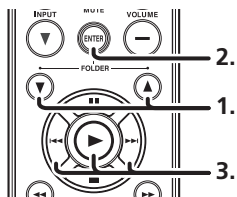
▶ ボタンを押すと、選択したリピート再生を開始します。（16 ページ参照）

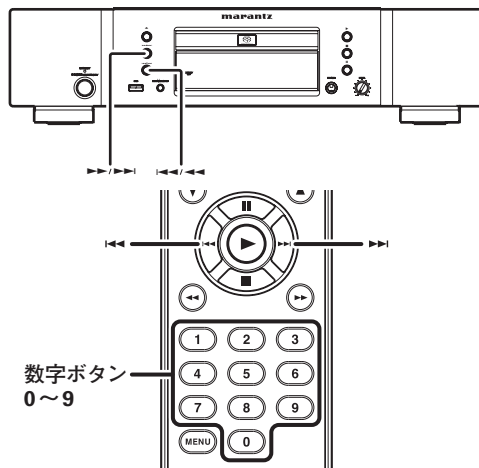
## 順不同で曲を再生する（ランダム再生）

ランダムに再生することができます。

停止中にリモコンの **RANDOM** ボタンを押すごとに、ON → OFF の順に切り替ります。
ON を選択したときに ▶ ボタンを押すと、ランダム再生を開始します。（16 ページ参照）

## 聴きたい曲を探す（AMS 再生）

先頭から順番に 10 秒毎に再生することができます。
リモコンの **AMS** ボタンを押すと、自動的に再生開始します。（17 ページ参照）

# 応用操作（USB 操作）ー SA8003 ー

## 別のフォルダに入っているファイルを選択する

1. リモコンのFOLDER ▲/▼ボタンを押すと、現在のフォルダ番号とフォルダ名が表示されます。選曲したい曲が入っているフォルダを探します。
2. 選曲したい曲が入っているフォルダ名が表示されているとき、リモコンのENTERボタンを押すと、フォルダ内にある先頭のファイル名が表示されます。
3. 選曲したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、PLAYボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行います。

## 聴きたい曲（トラック）を再生する

### 曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

リモコンの数字ボタン（0 ～ 9）で再生する曲番を指定します。
（例）

3 曲目 ： 数字ボタン **3** を押す。
12 曲目 ： 数字ボタン **1** を押し、続けて **2** を押します。（約 1.5 秒以内に押してください。）

#### 数字ボタンを押し間違えたときは

存在しない曲番を指定すると、この操作をする前の表示に戻ります。
もう一度、正しい数字ボタンを押します。

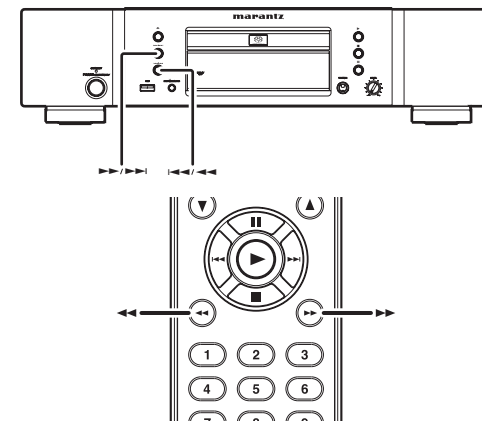
### 前の曲や次の曲を再生する（トラック スキップ）

#### 再生中の曲より後の曲を聴くには

進めたい曲数分だけ本体またはリモコンの ⏭ ボタンを押します。

#### 再生中の曲より前の曲を聴くには

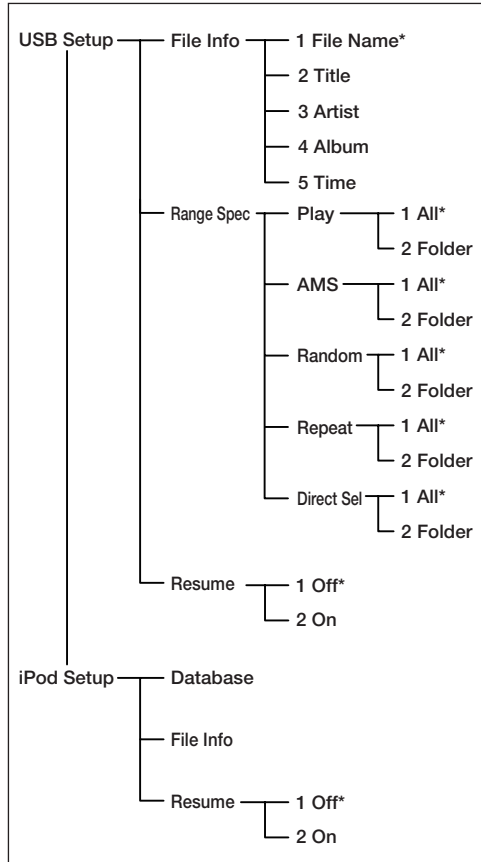
再生中に本体またはリモコンの ⏮ ボタンを 1 度押すとその曲の頭に移ります。
続けて戻したい曲数分だけ本体またはリモコンの ⏮ ボタンを押します。

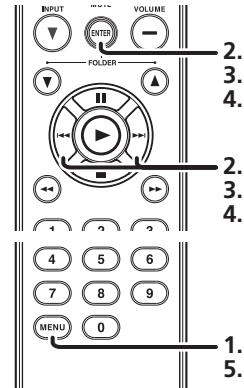
## 聴きたい部分を再生する（サーチ）

再生中に本体の ⏮、⏭ ボタンを押し続けるかリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すと、サーチを開始します。
その後本体の ⏮、⏭ ボタン、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押すとサーチスピードを変更することができます。
サーチの速度は USB は 4 段階で 1 → 2 → 3 → 4 → 1 と変化します。
速度は 4 が最も速くサーチします。
iPod は 1 段階のみです。
聴きたい部分が近づいてきたら ▶ ボタンを押してください。

**ご注意**

サーチ操作中に音声は出力されません。

## USB メディアの操作

USB メディアの操作の階層下は下記のとおりです。

**＊出荷時の設定です**

### 前回停止してたところから再生をする（レジューム再生）

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**USB Setup=>**” または “**iPod Setup=>**” を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**Resume=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**4.** レジューム再生を行ないたい場合は、I◀◀、▶▶I ボタンで、“**2 On**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

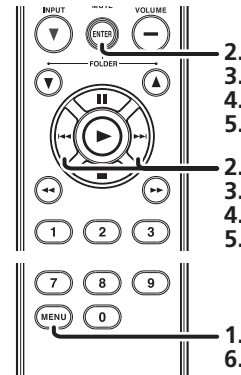
レジューム再生を行わない場合は、I◀◀、▶▶I ボタンで、“**1 Off**” を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**5.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

**ご注意**

- レジューム再生は、同一の USB メディアを挿入したときのみ有効となります。異なる USB メディアを挿入した場合は、先頭にあるファイルから再生します。
- 同一の USB メディアで、ファイルを追加、または削除した場合は、希望する曲からの再生が行なえない場合もあります。
- iPod でのレジューム再生は、再生していた曲の先頭から再生されます。

### 聴きたい曲を再生する

聴きたい曲を選ぶとき、フォルダ内のトラック番号で選曲するか、または USB メディアにある全曲から直接選曲するかを指定することができます。

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**USB Setup=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**Range Spec=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

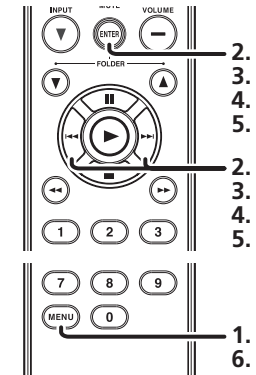
**4.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**Direct Sel=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**5.** フォルダ内のトラック番号で選曲する場合は、I◀◀、▶▶I ボタンで、“**2 Folder**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

USB メディアにある全曲から直接選曲する場合は、I◀◀、▶▶I ボタンで、“**1 ALL**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**6.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

### 繰り返し聴く（リピート再生）

リピート再生するとき、フォルダ内の曲をリピート再生するか、または USB メディアにある全曲をリピート再生するかを指定することができます。

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**USB Setup=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**Range Spec=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**4.** I◀◀、▶▶I ボタンで、“**Repeat=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

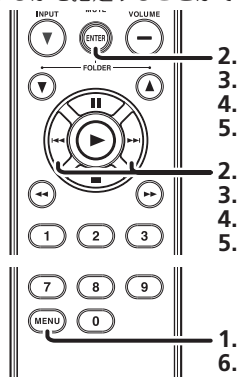
**5.** フォルダ内の曲をリピート再生したい場合は、I◀◀、▶▶I ボタンで、“**2 Folder**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

USB メディアにある全曲をリピート再生したい場合は、I◀◀、▶▶I ボタンで、“**1 ALL**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**6.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

## 応用操作（USB 操作）ー SA8003 ー

### ■ 順不同で曲を再生する（ランダム再生）

ランダム再生するとき、フォルダ内の曲をランダム再生するか、または USB メディアにある全曲をランダム再生するかを指定することができます。

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** ⏮、⏭ボタンで、“**USB Setup=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** ⏮、⏭ボタンで、“**Range Spec=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

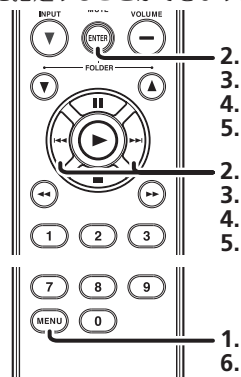
**4.** ⏮、⏭ボタンで、“**Random=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**5.** フォルダ内の曲をランダム再生したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Folder**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

USBメディアにある全曲をランダム再生したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 ALL**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**6.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

### ■ 聴きたい曲を探す（AMS 再生）

AMS 再生するとき、フォルダ内の曲を AMS 再生するか、または USB メディアにある全曲を AMS 再生するかを指定することができます。

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** ⏮、⏭ボタンで、“**USB Setup=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** ⏮、⏭ボタンで、“**Range Spec=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

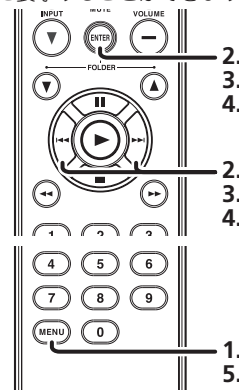
**4.** ⏮、⏭ボタンで、“**AMS=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**5.** フォルダ内の曲を AMS 再生したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Folder**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

USBメディアにある全曲を AMS 再生したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 ALL**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**6.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

### ■ ファイル情報表示の選択

USB メディアの場合、MP3 等のタグ情報を各ファイル再生時に表示することができます。

**1.** リモコンの **MENU** ボタンを押します。

**2.** ⏮、⏭ボタンで、“**USB Setup=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**3.** ⏮、⏭ボタンで、“**File Info=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**4.** ファイル名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 File Name**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

曲名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Title**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

アーティスト名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**3 Artist**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

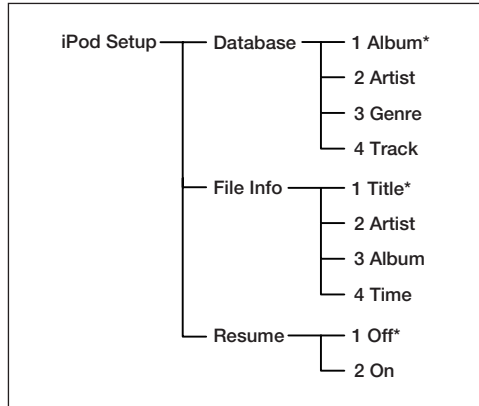
アルバム名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**4 Album**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

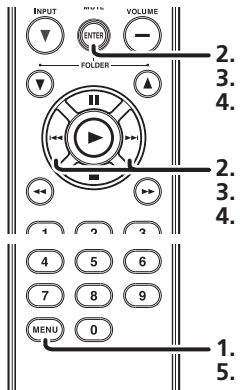
ファイル情報を表示せずに常に時間情報を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**5 Time**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。

**5.** リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

- 通常再生時にリモコンの **TEXT** ボタンを押すと、選択されているファイル情報が表示されます。
- 表示中に再度リモコンの **TEXT** ボタンを押すと、曲名が表示されます。選択されているファイル情報が曲名の場合、アーティスト名が表示されます。
- 表示中にリモコンの **TEXT** ボタンを押すと、曲名→アーティスト名→アルバム名→曲名と表示が変わります。

## iPod の操作

iPod の操作の階層下は下記のとおりです。

* 出荷時の設定です

### iPod のデータベースの選択

1. リモコンの **MENU** ボタンを押します。
2. ⏮、⏭ボタンで、“**iPod Setup=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。
3. ⏮、⏭ボタンで、“**Database=>**”を表示させ、リモコンの **ENTER** ボタンを押します。
4. アルバム名で再生するアルバムを選択する場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 Album**”を表示させ、リモコンの **ENTER** を押します。

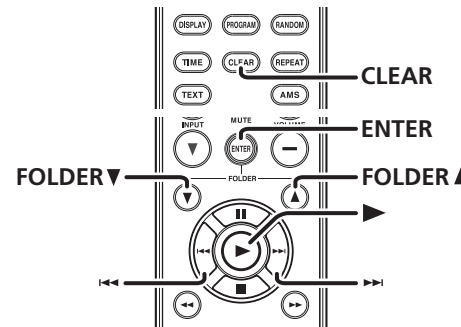
   アーティスト名絞り込みを行った後で、album と同様の選択又は選択されたアーティスト全体を再生したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Artist**”を表示させ、リモコンの **ENTER** を押します。

   ジャンルで絞り込みを行った後で、artist と同様の選択を行いたい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**3 Genre**”を表示させ、リモコンの **ENTER** を押します。

   データベースを使用しないで再生を行いたい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**4 Track**”を表示させ、リモコンの **ENTER** を押します。
5. リモコンの **MENU** ボタンを押して設定を終了します。

**ご注意**

各データベースでの使用方法はお持ちの iPod の取扱取説書を参照してください。

### 別のアーティストの曲を選択

iPod のデータベースとしてアーティストが選択されている場合

1. リモコンの **FOLDER ▲/▼** ボタンを押すと、“**ALL**” または現在のアーティストが表示されます。リモコンの **CLEAR** ボタンを押すと、選択中のアーティストが解除されます。
2. **FOLDER ▲/▼** ボタンを押して、選択したいアーティストを探します。
3. 選択したいアーティストが表示されているとき、リモコンの **ENTER** ボタンを押すと、“**All Album**”または**アルバム名**または**トラック名**が表示されます。

**（All Album から選択）**

4. このとき、リモコンの **ENTER** ボタンを押すと、アーティスト内にある先頭の曲名が表示されます。
5. 選択したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、**PLAY** ボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行ないます。

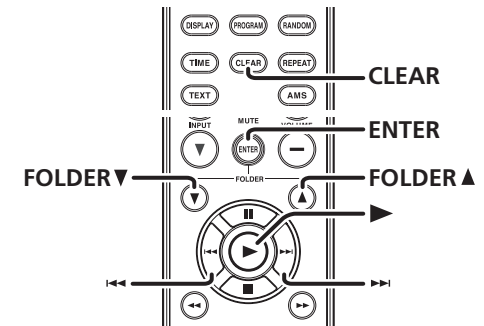
**（アルバムから選択）**

4. このとき、リモコンの **FOLDER ▲/▼** ボタンを押すと、アーティストのアルバム名が表示されます。
5. **FOLDER ▲/▼** ボタンを押して、選択したいアルバムを探します。
6. 選択したいアーティストが表示されているとき、リモコンの **ENTER** ボタンを押すと、アルバム内にある先頭の曲名が表示されます。
7. 選択したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、**PLAY** ボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行ないます。

**アドバイス**

アルバムまたは曲を選択するとき、リモコンの 0 ～ 9 キーでも選択することができます。

各データベースでの使用方法はお持ちの iPod の取扱取説書を参照してください。

### 別のジャンルの曲を選択

iPod のデータベースとしてジャンルが選択されている場合

1. リモコンの **FOLDER ▲/▼** ボタンを押すと、ALL または現在再生中のアルバム名が表示されます。
2. リモコンの **CLEAR** ボタンを押すと、現在選択中のアーティスト又はジャンルが解除されます。アーティストが解除された場合は、“**ALL**” が表示されます。
3. **FOLDER ▲/▼**ボタンを押して、選択したいジャンルを探します。

各部の名称
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
困ったときは
その他

**4.** 選択したいジャンルが表示されているときに、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、“**All Artist**”または**アーティスト名**が表示されます。

**（All Artistから選択）**

**5.** このとき、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、ジャンル内にある先頭の曲名が表示されます。

**6.** 選択したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、**PLAY**ボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行ないます。

**（アーティストから選択）**

**5.** このとき、リモコンの**FOLDER ▲/▼**ボタンを押して、選択したいアーティストを探します。

**6.** 選択したいアーティストが表示されているときに、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、“All Album”またはアルバム名またはトラック名が表示されます。

**7.** 更に**ENTER**ボタンを押すと、アーティスト内にある先頭の曲名が表示されます。

**8.** 選択したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、**PLAY**ボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行ないます。

**（アルバムから選択）**

**5.** このとき、リモコンの**FOLDER ▲/▼**ボタンを押すと、アーティストのアルバム名が表示されます。

**6.** **FOLDER ▲/▼**ボタンを押して、選択したいアルバムを探します。

**7.** 選択したいアルバムが表示されているときに、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、アルバム内にある先頭の曲名が表示されます。

**8.** 選択したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、**PLAY**ボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行ないます。

## 別のアルバムに入っている曲を選択

iPodのデータベースとしてアルバムが選択されている場合

**1.** リモコンの**FOLDER ▲/▼**ボタンを押すと、現在のアルバム名が表示されます。**FOLDER ▲/▼**ボタンを押して、選択したいアルバムを探します。

**2.** 選択したいアルバムが表示されているとき、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、アルバム内にある先頭の曲名が表示されます。

**3.** 選択したい曲を⏮、⏭ボタンで選択し、**PLAY**ボタンを押すと、選曲を確定し、再生を行ないます。

**アドバイス**

アルバムまたは曲を選択するとき、リモコンの0～9キーでも選択することができます。

## ファイル情報表示の選択

iPodの場合、ファイル情報をファイル再生時に表示することができます。

**1.** リモコンの**MENU**ボタンを押します。

**2.** ⏮、⏭ボタンで、“**iPod Setup=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

**3.** ⏮、⏭ボタンで、“**File Info=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

**4.** 曲名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 Title**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
アーティスト名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Artist**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
アルバム名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**3 Album**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
ファイル情報を表示せずに常に時間情報を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**4 Time**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

**5.** リモコンの**MENU**ボタンを押して設定を終了します。

- 通常再生時にリモコンの**TEXT**ボタンを押すと、選択されているファイル情報が表示されます。
- 表示中に再度リモコンの**TEXT**ボタンを押すと、曲名が表示されます。選択されているファイル情報が曲名の場合、アーティスト名が表示されます。
- 表示中にリモコンの**TEXT**ボタンを押すと、曲名→アーティスト名→アルバム名→曲名と表示が変わります。

# 困ったときは

困ったときは下記の項目を確認してください。
下記の項目を確認しても直らない場合は、お買い上げになった販売店もしくはお近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所、お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

| 現象 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| ディスクが回らない | 電源プラグがコンセントから抜けている。 | 電源プラグをコンセントに差し込んでください。（→ 11 ページ） |
| | 本機の電源が入っていない。 | 本機の電源をオンにしてください。（→ 12 ページ） |
| | ディスクが正しい位置に入っていない。 | ディスクを正しく乗せてください。（→ 12 ページ） |
| | ディスクが裏表さかさまに入っている。（ディスクの印刷面が下になっている） | ディスクを正しく乗せてください。（→ 12 ページ） |
| ディスクが途中で回らなくなり、止まる | ディスクが汚れている。 | ディスクの表面をきれいにしてください。（→ 30 ページ） |
| | ディスクに傷がついている。 | 傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。 |
| | ディスクが反っている。 | ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。 |
| ディスクは回るが音が出ない | アンプ・スピーカの接続が正しくない。 | ケーブル類を正しく接続してください。（アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプの電源がオンになっていない。 | アンプの電源を入れてください。（アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。 | アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプのボリュームが最小になっている。 | アンプのボリュームを調整してください。（アンプの説明書をご覧ください。） |

| 現象 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| リモコン操作ができない | 本機とリモコン間の距離が遠すぎる。 | 本機に近づいて、操作範囲内で操作してください。（→ 6 ページ） |
| | 本機とリモコン間に障害物がある。 | 障害物を取り除いてください。（→ 6 ページ） |
| | リモコンの電池が切れている。 | 電池を全て新しいものに取り替えてください。（→ 6 ページ） |
| | 本機の受光窓に強い光が当たっている。 | 受光窓に強い光が当たらないようにしてください。（→ 6 ページ） |
| | 後面の REMOTE CONTROL スイッチが EXTERNAL 側になっている。 | 本機を単独で使用する場合、スイッチを INTERNAL 側にしてください。（→ 14 ページ） |
| CD-R/CD-RW ディスクが再生できない | ディスクが裏表さかさまに入っている。 | ディスクを正しく乗せてください。（→ 12 ページ） |
| | 記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットではない。または MP3／WMA ファイルが正しく記録されていない。 | 本機に対応した正しい情報を記録してください。（→ 30 ページ） |

## 困ったときは

### USB/iPod（SA8003）

| 現象 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 表示部に“OverCurrent”と表示される。 | 本機から USB 経由で供給できる電力を超えています。 | 未対応の USB メディアです。動作負荷電流 500mA 以下のものをご利用ください。 |
| 表示部に“FAT Error”又は“Cluster Err”と表示される。 | 未対応のファイルシステムを使用しています。または128MB 以下の USB メモリは対応できません。 | 対応するファイルシステム（FAT32 または FAT）でフォーマットされた、256MB 以上の USB デバイスをご利用ください。 |
| 表示部に“No File”と表示される。 | 本機で再生可能なファイルが存在しません。 | 対応フォーマットをご確認ください。（→ 27、28 ページ） |
| 表示部に“DRM Stream”と表示される。 | ディジタル著作権管理されているファイルです。 | 本機では未対応の DRM のため再生できません。（→ 27 ページ） |
| USB は接続されているが音が出ない | アンプ・スピーカの接続が正しくない。 | ケーブル類を正しく接続してください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプの電源がオンになっていない。 | アンプの電源をオンしてください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。 | アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプのボリュームが最小になっている。 | アンプのボリュームを調整してください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| iPod は接続されているが音が出ない | 第 3 世代以前の iPod には未対応です。 | “iPod の再生について”を参照してください。（→ 28 ページ） |
| | アンプ・スピーカの接続が正しくない。 | ケーブル類を正しく接続してください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプの電源がオンになっていない。 | アンプの電源を入れてください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD” または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えられていない。 | アンプのファンクション又はセレクタースイッチが“CD”または“AUX”等（本機と接続した端子）に切替えてください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |
| | アンプのボリュームが最小になっている。 | アンプのボリュームを調整してください。（→アンプの説明書をご覧ください。） |

| 現象 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| USB 機器の読み込みに時間がかかる。 | 容量の大きい USB 機器を接続したとき、容量によっては読み込みに時間がかかります。大容量のときは読み込みに数分かかることもあります。 | 読み込みが完了するまでお待ちください。 |

# その他

## WMA の再生について

- Windows Media は、米国MicrosoftCorporationの米国およびその他の国における商標です。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- マルチセッションには対応していません。
- DRM コピープロテクトのかかったWMAファイルは再生できません。
- WMA ファイルは、米国MicrosoftCorporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

### WMAファイル

| | |
|---|---|
| **規格** | Microsoft Windows Media Audio 9.2 準拠<br>以下は対応外<br>• WMA9 シリーズ Professional<br>• WMA9 シリーズ Voice<br>• WMA9 シリーズ Lossless<br>• Video 有り WMA |
| **拡張子** | .wma |
| **ビットレート [kbps]** | CBR：48~320<br>VBR：Peak 384（表示は平均ビットレート値の対応となります） |
| **サンプリング周波数 [kHz]** | 32/44.1/48 |
| **チャンネル** | 2ch（Stereo） |
| **文字情報** | タイトル：128Byte<br>作成者（アーティスト名）：128Byte<br>アルバム名：128Byte |

### Windows Media DRMについて

Windows Media デジタル著作権管理(DRM)(以下、WMDRM) は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。

WMDRM で保護されたコンテンツは WMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。

本機は WMDRM で保護されたコンテンツに対応していません。

## MP3 の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32 kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは“No File”と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）には対応していません（再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします）。
- マルチセッションには対応していません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbps以上をお勧めします。

### MP3ファイル

| | |
|---|---|
| **規格** | MPEG-1 Audio Layer3 |
| **拡張子** | .mp3 |
| **ビットレート [kbps]** | MPEG-1 Audio Layer3 の場合<br>32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 |
| **サンプリング周波数 [kHz]** | MPEG-1 Audio Layer3 の場合<br>32/44.1/48 |
| **チャンネル** | 2ch（Stereo） |
| **エンファシス** | OFF |
| **文字情報** | 【ID3v2（v2.2/v2.3/v2.4）】<br>タイトル：128 Byte<br>アーティスト名：128 Byte<br>アルバム名：128 Byte<br>コメント：128 Byte<br>【ID3v1（v1.0/v1.1）】<br>タイトル：30 Byte<br>アーティスト名：30 Byte<br>アルバム名：30 Byte<br>コメント：30 Byte |

# その他

## AAC の再生について

- AACとは「Advanced Audio Coding」の略です。MPEG-2およびMPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- 本機では、iTunes®を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」のAACファイルの再生に対応しています。ただし、DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードするiTunesのバージョンによっては再生できないことがあります。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iTunesで作成されたファイルが対象です。

| 規格 | MPEG-4/AAC LC（Low Complexity）<br>MPEG-2/AAC LC（Low Complexity） |
|---|---|
| 拡張子 | .m4a |
| ビットレート [kbps] | 8 ～ 320 |
| サンプリング周波数 [kHz] | 32/44.1/48 |
| チャンネル | 2ch（Stereo） |
| 文字情報 | 【MPEG-4 ヘッダ（iTunes コンテンツ情報）】<br>名前（タイトル）：128Byte<br>アーティスト名：128Byte<br>アルバム名：128Byte<br>コメント：128Byte |

## iPod の再生について

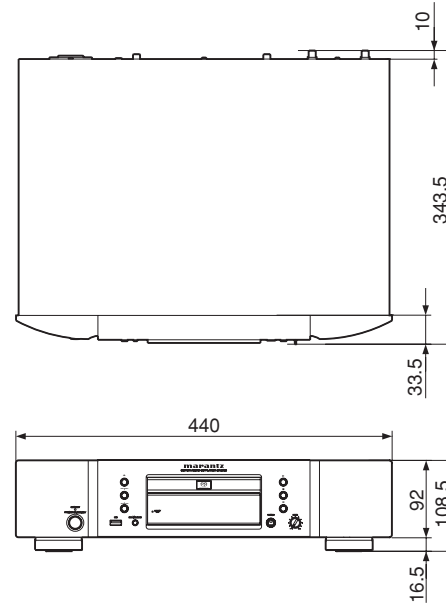
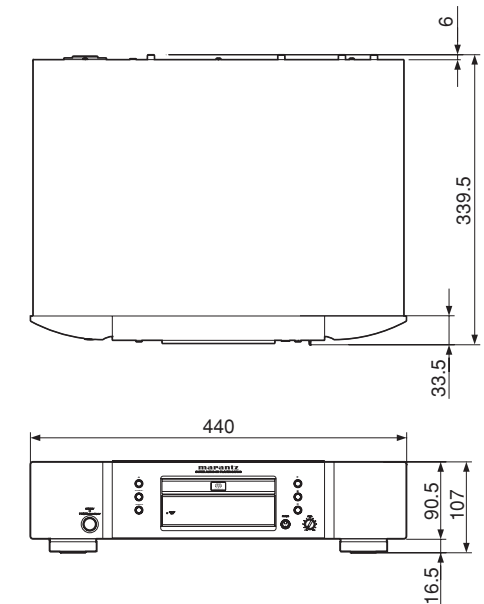
- 第5世代以降のiPodおよびiPod nano、iPod classic、iPod touchを接続すると、iPodから音声がデジタル（LPCM）伝送されるため、より高音質で再生することができます。
- 接続するiPodの機種によっては、一部動作が異なる場合があります。
- iPodのソフトウェアが古いと正常に動作しないことがあります。必ず最新のiPodソフトウェアでお使いください。
- TEXT表示は英数字のみとなります。英数字以外の文字がiPodに記録されている場合、その文字は「＊」で表示されます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- SA8003からiPodのイコライザを操作することはできません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを「オフ」に設定することをお勧めします。
- 本機とiPodを組み合わせてご使用の際、iPodのデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

## WAV の再生について

| 規格 | RIFF Waveform Audio Format |
|---|---|
| フォーマット | リニア PCM |
| 拡張子 | .wav |
| サンプリング周波数 [kHz] | リニア PCM：PCM32/44.1/48<br>上記以外は対応外 |
| ビット数 [bit] | リニア PCM：16 |
| チャンネル | 2ch（Stereo） |
| 文字情報 | なし |

## 仕様・外観寸法図

| | スーパーオーディオ CD | オーディオ CD |
|---|---|---|
| **オーディオ特性** | | |
| アナログ出力 | | |
| チャンネル | 2 チャンネル | 2 チャンネル |
| 再生周波数範囲 | 2Hz — 100kHz | 2Hz — 20kHz |
| 周波数特性 | 2Hz — 50kHz （-3dB） | 2Hz — 20kHz |
| ダイナミックレンジ | 112dB | 100dB 以上 |
| S/N 比（A-Weighted） | 110dB | 110dB |
| 高調波歪率（1kHz） | 0.0020％ | 0.0020％ |
| ワウフラッター | 水晶精度 | 水晶精度 |
| **アナログ出力レベル** | | |
| アンバランス | 2.3V RMS ステレオ | 2.3V RMS ステレオ |
| **デジタル出力** | | |
| ピンジャック | —— | 0.5Vp-p （75 Ω） |
| 角型光コネクター（光出力） | —— | -19dBm |
| **光学読み取り方式** | | |
| レーザー | AlGaAs | AlGaAs |
| 波長 | 650nm | 780nm |
| **信号方式** | 1 ビット DSD | 16 ビット・リニア PCM |
| サンプリング周波数 | 2.8224MHz | 44.1kHz |

### 電源部

電源……AC 100V 50/60Hz
消費電力（電気用品安全法）……25W
スタンバイ消費電力……0.5W

### キャビネット・その他

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
……(SA8003) 440×108.5×343.5mm
……(SA7003) 440×107×339.5mm
質量
……(SA8003) 7.8kg
……(SA7003) 5.9kg
許容動作温度……＋5℃～＋35℃
許容動作湿度……5～90％（結露のないこと）

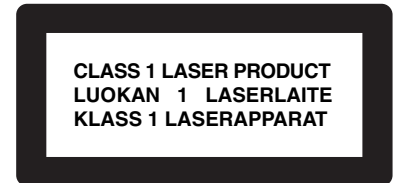
### 付属品

- リモコン……1
  質量（電池なし）……110g
- 単四乾電池（R03）……2個
- 電源コード……1本
- オーディオケーブル……1組
- リモート接続ケーブル……1本

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

SA8003

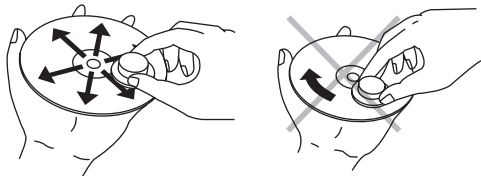
SA7003

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

# その他

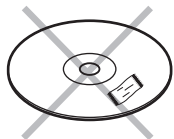
## ディスクの取扱い方

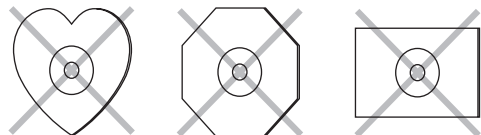
**★ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。**

**★ディスクの表面はいつもきれいに**

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

- 放射状方向にふいてください。
- 円周方向には、ふかないでください。

**★ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。**

ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

**★特殊な形のディスクは使用しないでください。**

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

**★ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。**

CD 規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

**★ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。**

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

**★ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。**

### コピーコントロール CD（コピーガード付 CD）について

コピーコントロール CD（コピーガード付 CD）は、現在の CD 規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様の CD 再生機器による再生の状態を保証致しかねます。
通常 CD を用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様の CD 再生機器の不具合ではございません。
なお、コピーコントロール CD に関する詳細につきましてはコピーコントロール CD の発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

### CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機では従来のオーディオ CD や CD-R（Recordable）に加え、CD-RW（ReWritable）ディスクの再生も可能です。

- CD-R や CD-RW の再生では必ず TOC* が正しく記録されていることが必要です。CD レコーダーでは TOC 情報を書き込むことをファイナライズ（Finalize）といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通の CD プレーヤーやスーパーオーディオ CD プレーヤーではオーディオ CD として正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくは CD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

  * TOC（トック）とは Table Of Contents の略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、WMA/MP3 の音楽データが記録された CD-R/CDRW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」どが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- CD-RW ディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオ CD や CD-R に比べ TOC の読み込みに若干時間がかかることがあります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ミックス・モード CD ／エンハンスド CD や DTS CD ディスクを再生することはできません。
- CD-G、ビデオ CD や DVD ディスクを再生することはできません。

### DualDisc の再生について

- “DualDisc”は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD 面ではないオーディオ面は一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- “DualDisc”の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

## USB メディアについて

- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続して音楽ファイルを再生することはできません。本機が対応している USB メモリー（FAT16、FAT32 フォーマットに対応）などの USB マスストレージクラスに属する機器です。
- 本機ですべての USB メモリーの再生、および電源の供給を保証できない場合があります。また、本機と接続したことで、USB メモリーのファイルが万が一損失した場合、当社では一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

## お手入れ

- セットが汚れたときは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5〜6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

## ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## 著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、オーディオCDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。

  したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

## 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理について。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

**ご連絡いただきたい内容**

1）品名　スーパーオーディオCDプレーヤー
2）品番　SA8003 / SA7003
3）シリアルナンバー（製造番号）
4）お買い上げ日　年　月　日
5）故障の状況（できるだけ具体的に）
6）ご住所
7）お名前
8）電話番号

marantz®

## お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30ー12：00　13：00ー17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

# 株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China

07/2008　541110094113M　mzh-d